

旧農業公園再整備計画【概要】

1. 趣 旨

旧農業公園再整備計画（以下、再整備計画という）は、令和3年5月に素案の公表後、市民意見募集等を経て、再整備計画案として、同年7月に公表しました。

民間企業等のヒアリングによる既存建物の活用ニーズや、市域におけるSDGs、地域資源循環の意識向上といった状況の変化を踏まえ、さらに「SDGs 貢献都市 神戸」を推進する観点を加えることから、再整備計画案を更新しました。

2. 再整備方針

（1）再整備のコンセプト

KOBE 里山 SDGs への貢献

都市と里山農村地域が近接し、地産地消を実践できる立地・環境を活かし、既存の施設を活用した新たなライフスタイルの提案やイノベーションを創出する拠点として再整備します。

（2）再整備で構築する3つの機能

コンセプト実現のため、次の3つの機能の構築を目指します。

① 里山再生に資する実証機能

- ・ブドウ畑や圃場、緑豊かな広大な敷地を活用した里山の課題解決に資する取り組みの実証実験を実施します。
- ・里山の資源を活用した新事業への取り組みなど、里山の新たな可能性を発見し、新技術を構築します。
- ・KOBE 里山 SDGs に貢献する取組を周辺地域へ普及します。

② 地産地消・地域資源活用を推進する機能

- ・農産物直売所を核に「BE KOBE 農産物」など神戸産農産物が提供され、園内だけでなく園外と連携して、地産地消や地域の農業振興に取り組みます。
- ・神戸産食材を活用した食やイベントによる賑わいづくりと魅力向上を図ります。

③ 多様な人材を育成・交流する機能

- ・多様な人々が関わり合い、アウトドア体験や野遊びを通じて、里山の恵みを体験し、里山への興味関心を醸成します。
- ・里山農村地域の魅力を感じられる学びの場の提供により将来の里山の担い手を育成します。

3. 建物・敷地の利活用

① 既存建物

施設の中心に位置する本館、体験実習館、レストラン・ホテル館、バーベキュー場を再整備の核となる施設として位置づけ、民間活力を導入し、維持管理することで、持続可能な運営を目指します。

② 醸造施設

一般財団法人神戸農政公社と民間企業が連携し、既存の醸造施設において、必要に応じて設備を更新し、神戸ワインの醸造を引き続き実施します。また、醸造においては市域特産物を活用し、農産物加工の核となる施設と位置づけます。

③ 農産物直売所

JA兵庫六甲農業協同組合が開設する農産物直売所については、現在の場所にて機能強化を図ります。神戸産の様々な農産物が集まる拠点としての集客力を活かし、神戸産農産物の情報発信や施設全体の玄関口となる施設と位置づけます。

④ 圃場・ブドウ畑

敷地内に存在する圃場及びブドウ畑の一部については、循環型農業を実践する「SDGs 圃場」及び「SDGs ブドウ畑」として位置づけ市が実証実験に取り組みます。

⑤ その他

上記以外の建物・敷地については、民間の活力を導入し、再整備のコンセプトに沿った活用（新築含む）を行います。なお、市が活用する場合があります。

【建物・敷地の配置図】



4. 事業スキーム

- ・市は、再整備計画に基づいて、全体運営事業者を公募します。
- ・全体運営事業者は、市と20年間の基本契約及び土地・建物の利用に関して必要となる各種契約を締結し、旧農業公園を再整備し、管理・運営を行います。

5. 今後のスケジュール（予定）

令和6年度上半期	全体運営事業者の公募・選定
下半期	設計・工事等着手、順次開業